

NEWS LETTER

NO.68



JCSDA

Japan Concrete
Sawing & Drilling
Association



一般社団法人 日本コンクリート切断穿孔業協会
〒141-0031 東京都品川区西五反田1丁目4-8 412号
Tel.03-3490-3217 Fax.03-3490-3288
<http://www.jcsda.gr.jp>

理事長挨拶

「安全で高度な技術を通じて、社会インフラを支え、業界の未来を切り拓く。」

このたび、一般社団法人日本コンクリート切断穿孔業協会（JCSDA）の理事長を拝命いたしました。平素より協会活動にご理解とご支援を賜っております会員の皆様、関係各位に心より御礼申し上げます。

当協会は、コンクリート構造物の切断・穿孔工法の普及と技術向上、安全作業の推進を通じて、業界の発展と社会への貢献を目的として活動してまいりました。私たちの仕事は、社会インフラの維持・更新、防災・減災、都市再開発など、日本の未来を支える重要な役割を担っています。しかしながら、その社会的意義に比べ、業界の認知度や評価はまだ十分とは言えません。

私は理事長として、まず「業界の社会的地位向上」に力を注ぎたいと考えています。私たちが持つ高度な技術力、安全への取り組み、社会への貢献を積極的に発信し、発注者や元請企業、そして社会全体から正しく評価される業界を目指します。

また、将来を担う若い世代から「この仕事に挑戦したい」「この業界で働きたい」と思ってもらえる魅力ある職種づくりにも取り組みます。

そのためには、会員企業が適正な利益を確保し、安全教育や人材育成、設備投資に継続して取り組める環境が必要です。過度な価格競争や、自らの首を絞めるような安値受注は、結果として安全や品質、人材育成への投資を困難にし、業界全体の発展を妨げることに繋がります。私たちは自由で健全な競争を尊重しながらも、業界全体の価値向上という共通の目的のもとで協調し、適正な施工価値が正当に評価される市場づくりを進めていかなければなりません。

JCSDAは、会員各社が切磋琢磨しながら技術と安全を高め、互いに学び合い、業界全体の発展を目指す場であり続けたいと考えています。

会員の皆様をはじめ、関係各位のお力添えをいただきながら、次の世代に誇れる業界づくりに全力で取り組んでまいります。

今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本コンクリート切断穿孔業協会
理事長 藤尾 浩太

目次

理事長挨拶 藤尾理事長	1	同懇親会報告	11
第35回定時総会	2	例会プレゼンコーナー	12・13
新役員一覧	3	ワールドオブコンクリートツアーレポート	14～22
第76回例会	4～10	施工計画の手引き掲載情報/事務局便り	23
		会員名簿	24

◆総会及び例会 出席33社69名 司会進行 広報委員長 久保 達博氏（株式会社シブヤ）

総会

1.開会宣言

15時00分 会則18条による総会成立の確認と、開催宣言が行われ、総会スタート。



司会進行 久保理事

2.理事長挨拶 小澤理事長より開会挨拶

みなさんこんにちは。本日はお忙しい中、第35回定時総会並びに76回例会にお集まり下さいましてありがとうございます。この1年を振り返りますと協会としては総会・例会・理事会・各委員会活動をはじめニューズレターの発行・国際交流・安全衛生活動など様々な取り組みを進めてまいりました。会員各社の皆様、理事・委員の皆様のお力添えがあってこそその活動であります。改めて御礼申し上げます。一方で我々の仕事は社会インフラを支える重要な役割を担っております。技術・安全・人材育成どれ一つ欠かすことはできません。特に安全については設備や養生だけではなく、現場を支えている一人ひとりの意識と行動が何より大切だと感じております。当会としても会員同士の情報共有や技術向上、安全意識の向上に引き続き取り組み業界の発展に繋がる活動を進めていきたいと考えています。そして、本日は役員改選も予定されております。私自身、理事長として皆様に支えて頂きながら務めてまいりましたが、在任中は本当に多くのご協力を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。本日の総会が盛り上がる場になることをお願い申し上げて開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い致します。



挨拶 小澤理事長

3. 議案報告（議長 1～4号議案小澤純氏（理事長）・5～7号議案藤尾浩太氏（新理事長）

第1号議案 令和7年度事業報告に関する件

第2号議案 令和7年度収支報告に関する件

第3号議案 令和7年度会計監査報告

収支決算監査報告

宮崎監事（㈱クライム）代理清水氏（理研ダイヤモンド工業㈱）

第4号議案 役員改選に関する件

新役員案可決後、藤尾新理事長に議長交代

第5号議案 令和8年度事業計画(案)に関する件

第6号議案 令和8年度収支予算(案)に関する件

第7号議案 会則変更に関する件



監査報告 清水代理

藤尾新理事長 挨拶

皆さんこんにちは。ご紹介に預かりました藤尾浩太です。この度は日本コンクリート切断穿孔業協会の理事長という大役を仰せつかって身が引き締まる思いです。何分、不慣れがございますけれども、引き続きご審議の程お願い致します。

以上、各議案報告後採決の結果全議案が可決された。

議案終了後、新しく就任した理事（高橋辰佳氏（東北カッター㈱）・西澤良茂（㈱エジマ）・安達昌史（第一カッター興業㈱）・船本浩司（㈱コンセック）・澁谷彰範（㈱シブヤ）・相羽浩貴（第一建興江島㈱）：代理東谷良介の紹介が行われ、

15時30分第35回定時総会は閉会となった。



藤尾新理事長

令和8・9年度役員紹介



副理事長
伊勢 憲和
(株)シブヤ



理事長
藤尾 浩太
コンクリートコーリング(株)大阪



副理事長 兼東北地区代表理事
高橋 辰佳
東北カッター(株)



北海道地区理事
西澤 良茂
(株)エジマ



北海道地区理事
相羽 浩貴
第一建興江島(株)



関東地区代表理事
阿部 広
第一ダイヤモンド工事(株)



関東地区代表理事
小澤 純
コンクリートコーリング(株)



関東地区代表理事
安達 昌史
第一カッター興業(株)



中部地区代表理事
後藤 諭
東海カッター興業(株)



中部地区代表理事
稲積 雄司
江島産業(株)



関西地区代表理事
濱田 孝一
(株)日本コンクリートカッティング



中国・四国地区代表理事
船本 浩司
(株)コンセック



九州・沖縄地区代表理事
河口 幸史
(株)コムカット



九州・沖縄地区代表理事
平田 豪
ダイヤモンド機工(株)



理事(メーカー)
加藤 大助
(株)ノリタケマシントクノ



理事(メーカー)
長谷川 光司
理研ダイヤモンド工業(株)



理事(広報委員会)
仲山 浩太郎
仲山鉄工(株)



監事
宮崎 文隆
(株)クライム



企画委員長
田中 芳宜
第一ダイヤモンド工事(株)



広報委員長
久保 達博
(株)シブヤ



調査委員長
砂川 高寛
第一カッター興業(株)



国際委員長
澁谷 彰範
(株)シブヤ



メーカー部会長
増田 将士
旭ダイヤモンド工業(株)

例会

総会に引き続き、第76回例会が執り行われた

1.地区代表会員報告

① 北海道地区代表理事 第一建興江島株式会社 代理 東谷 良介氏

1月25日に北海道はもちろん、特に札幌市は最深積雪が112cmを記録し、毎シーズン累計積雪量は3m以上になるものの、1月に積雪が1mを超えたのは21年ぶりのことでした。そんな天候でも学校等は閉鎖になるものの当然現場はありました。札幌市内の通常片道30分の現場が片道2時間もかかっておりました。なかなかのスタートだったという印象です。知らない方もいると思うのですが、岩見沢市という場所が毎シーズン豪雪地方だったのですが今年は例年以下の積雪記録だったようで、気候の配置みたいなのが変わって、今年に引き続き札幌市近郊が毎年豪雪に悩まされるのではないかなというような予想話もでており冬を迎えるのが今から怖く感じております。そこから新年度を迎え、仕事の方はというと4月は北海道電力泊発電所や北海道新幹線事業に伴う工事からスタートし5月は泊発電所、北海道新幹線にプラスして高速道路リニューアル工事が北海道では2工区始まりました。フラットソー部門についても第一次繁忙期だといって非常に忙しくしております。GW明けの状況では我々の業界の特殊作業員が少し寂しいなという嬉しい感覚でした。しかし、6・7・8月と夏にかけては私共の会社だけでもありませんが少し寂しい感じであり、泊発電所、新幹線事業がメインになってくる感じがしております。

9月を迎えると、リニューアル工事秋施工も始まるのと今年が初年度の創成川通りのアンダーパス連続化計画が動き出し、解体改修を含む業務内容なので慌ただしくなるのかなと思っております。また懸念事項としては、ご存じかもしれませんが北海道新幹線工事が中止になってしまう可能性があるということです。開業予定の2030年から2038年まで遅れることで財務省の算出する費用対効果が投資基準を下回ったことで中止水準と提言されているからです。現段階では正式に中止が決定したわけではありませんが、今後の事業継続の是非について国や関係機関で大きな議論となっているので注視していきたいです。

あとは皆さん日々頭の中にあると思いますが中東事情です。北海道の状況はというと養生シート関係、あとトンパック、作動油、アドブルーがないって状況です。実際に我々が関与する現場自体はストップしたというのはまだ耳にしておりません。なんとか稼働しているようです。今後も注視していかなければいけない事だと強く思います。担い手不足については弊社ですが1年間で3人採用できました。仲介業者を利用した結果もあります。中途採用2名、新卒(大卒)が企業訪問を経て1名採用できました。また今年から自社のスペースを1部ジウム化し、SNS活動を行い鍛えるのが好きな方の募集を進めていきます。試行錯誤し担い手不足問題を攻略していきたいと思っております。



北海道地区 東谷代理

② 東北地区代表理事 東北カッター株式会社 高橋 辰佳氏

今年の冬は降雪量も多く、雪が降る地域はかなり苦労した冬となりました。青森県弘前市にある弘前公園は桜の名所として有名で、かつてはGWにちょうど満開になり観光客で賑わっていたのですが、ここ数年は4月中旬ともなれば満開になり、GWの頃には散ってしまった状況になっており、改めて気候の変動を感じる春となりました。この時期5月下旬でもいまだ寒暖差が激しい日々が続いているので、社員さんや協力業者の方々の健康面にも留意し安全に作業を進めていきたいと思っております。

市町村発注の工事は発注が鈍く、今の時期は入札案件も少ないことで、おそらくお盆前後の発注が増え秋から年末にかけて仕事量が増えるのではないかとのことでした。ここ数年豪雨災害が多く青森県の日本海側や秋田県内では災害復旧に予算がついており、河川の対策工事などは年度ごとに発注が見込まれている状況です。道路に関しては秋田県北にある【二ツ井今泉道路】や秋田県と山形県をまたぐ自動車専用道路の未開通区間が今年度も継続して工事が進められています。日本海側の【日本海沿岸東北自動車道】の象潟～遊佐間と、内陸の【東北中央自動車道】の秋田と山形の山間部にあたります。また新たにトンネル工事も進められますのでいずれはまた目地や注入といった仕事が出てくることと思っております。エネルギー関連では風力発電の本管工事



東北地区 高橋理事

や地熱発電の施設改修、原燃・原発といった施設内の改修工事や昨年にも引き続きの工事が進められています。私が住んでいる青森市では市と県の病院の統合が決まっており、いま現在あるスケート場と屋内運動施設を取り壊し、そこに新たに統合新病院を建設する予定となっています。これに伴い、周辺道路の渋滞緩和のための改良工事の他、場所を移して新たに屋内スケート場や運動施設、そしてボールパークも建設される予定となっており、地元建築業界にとっては継続して仕事量が見込めるだろうということです。東北では熊の目撃や被害も多く、最近では市街地に出没することも増えています。空港の滑走路にも出没することもあり、それによっては作業がストップし、稼働時間が減ってしまうということも強いられるというところで、仕事への影響も出始めています。最後に、今年の国スポ・障スポは青森県での開催ということで県内準備が進められています。今年の10月中旬は県内どこの宿泊施設も予約を取りづらい状況になると思われます。全国から各競技の選手やスタッフの方々が来られるので、これを機に青森や東北の魅力を知っていただいて全国に伝われば嬉しいなと思っております。

③ 関東地区代表 第一ダイヤモンド工事株式会社 阿部 広 氏

関東地区の建設市場は、引き続き 堅調な需要が続く見通しとなっております。都内を中心に、大規模再開発、老朽インフラ更新、防災・減災対策、物流施設建設、データセンター建設など、多くの大型プロジェクトが進行しております。大規模再開発案件としては、東京駅八重洲口周辺の再開発、六本木5丁目プロジェクト、新宿駅西口地区再開発などが挙げられます。また、インフラ分野では、1964年東京オリンピック前後に大量に施工した首都高速道路の橋梁更新事業や建設後60年以上経過した下水道施設および管路の更新・修繕など老朽化対策や機能強化を目的とした工事も継続して発注されております。さらに、ネット通販の増加に伴い、千葉・埼玉・茨城エリアを中心に大型物流倉庫や国内外企業の電算施設としてデータセンター一建設も増加しており、今後も新たな建設が予定されております。また防衛施設の強化で各都県の駐屯地や基地では隊舎の建て替え・艦船停泊施設の耐震化・滑走路の整備がかつて無い規模で本格化しています。しかしその一方で、建設業界を取り巻く環境は以前より少し厳しさを増しております。特に深刻なのが、人手不足と資材価格や労務費の上昇による建設費高騰のため再開発計画の延期や中止が相次いで発生しています。建築コストの高騰に賃料や分譲価格の上昇が追い付かないと再開が停滞しますので今後の動向が懸念されています。次に、5月入って関東では気温が30度を超えています。猛暑による熱中症災害を防止するため関東整備局宇都宮国道事務所が夏季休工工事が試験的に発注されました。今年は大宮と高崎の各事務所にも拡大して舗装工事や橋梁工事で夏季休工工事が発注されます。国交省や東京都は発注者として今後も熱中症対策経費を充実して熱中症リスクの軽減を目指すとしています。それに伴って、我々工事業者も施工の効率化や省人化して暑い環境での作業時間を短縮して、これから始まる長い暑い夏を乗り切って行きましょう。



関東地区 阿部理事

④ 東海地区代表理事 東海カッター興業株式会社 後藤 諭 氏

中部地区の東海カッターの後藤です。どうぞよろしくお願いいたします。

2027年にリニアが来るということで、すべてのプロジェクトが2026年、2027年に完成する予定でスタートされていた名古屋ですが、現在リニアが来ない状況になっております。その上、リニアが来るということで誘致が始まったアジア大会が今年開催されます。開催に向けて様々な建築が進められ、それに伴う道路、地下鉄、その他の土木工事も発注されておりましたが、今年は開催年ということもあり、そういう意味では仕事がなかなかございません。県、市の予算については、だいたい通常年度の4割程度をカットし、残りをアジア大会関連へ回すという状況でございます。ただ、アジア大会と言いましても、オリンピックと同じような規模で行われるものですが、名古屋には競技用の水泳プールがないため、水泳関係の種目は東京で行われるそうです。

ちなみに選手村を作る余裕もなく、選手村の代わりに客船のような船を利用して宿泊してもらうようです。現在、感染症なども流行しておりますので、どうなるのかという話も出ておりますが、新しく施設を作る余裕がないということで、投資を控えていく方向になっております。

2027年度はそういう意味で、もともとはいろいろな投資計画があったと思いますが、要は今年が2026年度ですが、2027年1月から皆さんもよくニュースでご覧になっていると思いますが、名古屋駅周辺で大規模な再開発が予定されておりましたが、それも中止になりました。中止になりまして、百貨店なども一度閉めた後に、そのテナントの中に戻って来てくださと言われても、すでに計画を変更して別の場所へ移っているところも多く、なかなか戻ってこない状況になっております。名古屋駅周辺は一時的にゴーストタウンのような状態になっており、個人的には「これは昭和の記念として残しておけばいいのではないか」と思うくらいの状況でございます。いろいろと規模を縮小して、もう一度進めるという話も出ておりますが、ここ数年はなかなか手をつけるのが難しいのではないかと思います。その周辺で言いますと、例えば名古屋の隣の駅である金山駅ですが、その前にある商業施設もかなり大きな施設で、以前の万博の頃に建てられたものになります。そこも2016年から解体して新しく建て直すという計画がありましたが、それも延期となっております。地方都市というのは、建設費がどんどん上がっていくと、無理に進めるのではなく、中止や延期を選択することがあるのだなと改めて感じております。中止したまま残しておいて、それが古くなっていったとしても、今はなかなか手を入れられない状況なのかなという印象です。

岐阜県についても、いろいろと中止や延期が出ておりますが、橋梁などについても「使わない」という選択が増えております。例えば老朽化した橋について、「危険なので通れません」という形で通行止めにしてしまうケースも非常に増えてきております。そうは言いましても、先ほど第一ダイヤモンド工事の阿部様からお話がありましたが、一方で8,000億円規模の投資があるということでした。愛知県と名古屋市では、建設関係の公共予算がおおよそ5,000億円程度になりますので、東京は非常に金額が大きいなと思いつながら聞いておりました。

それだけ見ると、中部地方というのはやはり規模としては小さい地域になります。その中でも、防災関係の仕事は少しずつ出てきております。当然、産業地帯がありますので、それに伴う農政関係の仕事や、港湾の防災、堤防のかさ上げなど、そういったものが少しずつ発注されているのではないかと思います。また、民間投資については公共投資の7倍から8倍程度あると言われております。



東海地区 後藤理事

トヨタさんの新しい新設工場もできますし、トヨタさんの関係する工場内の修繕など、そういうものも発注されております。また、トヨタさんの下請けであるデンソーさんや豊田織機さんなど、そういったところの需要といいますか、改修工事も引き続き多く発注されております。トヨタ系だけではなく、例えば防衛関係の三菱重工さんや川崎重工さん、その他にもよく名前を聞く日本製鉄さんなど、そういった大手企業の改修工事也非常に多く出てきております。改修工事に伴って、私たちが無人搬送車などの工事でお手伝いをさせていただいておりますが、今度はそちらの工事で、レールを設置するための接着剤がないということも起こっておりまして、多少工事が伸びてしまっているのが現状です。なんとか取り掛かれているところもありますが、非常にそういう意味では多少の遅延が出ております。愛知県や岐阜県についてはそういう状況ですが、私たちは富山県にも営業所があります。

富山県のカッター工事というのは少し独特なところもありまして、役所からの金額は15センチまで共通で発注されているため、現在は「15センチまで一緒にしましょうか」というような形で値段をつけるようにしております。一番高いところに合わせる形になりますが、場合によっては3倍くらいになるんですね。なんとなくイメージしていただけたと思いますが、一番安い5センチの単価が、15センチ程度の単価まで上がるような形になります。

非常に競争は厳しい状況ではありますが、お互いのやり方で、それぞれが切磋琢磨していけばいいのではないかなと考えております。引き続き皆様方の知恵をお借りしながら、私たちが頑張ってまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

⑤ 関西地区代表 株式会社日本コンクリートカッティング 濱田 孝一 氏

昨年10月に万博が終了しました。「万博ロス」なる言葉も生まれ、前評判に比べ成功感が出たイベントでした。次の日本での博覧会は、来年3月からの国際園芸博覧会になります。こちらにも是非足を運びたいと思います。ちなみに前回は1990年に大阪で開催されました、当時学生だったので知りませんでした。2300万人の来場者で、バブル期に重なり比較的潤沢な資金が集まったようです。本業の建設業についてです。約10年続いた大阪駅周辺のリニューアル工事は、ほぼ終わりました。現在の関西では首都圏のような長期の工事は少ないです。知り合いの警備業の方も大阪は底で、関東で稼いでいる、と言われました。少ないと言われる中でも、鉄道では、なにわ筋線と呼ばれる大阪駅と関西空港を結ぶ新線工事や、新名神高速道路や阪神高速の建設は粛々と進められています。ただどの地域も同じだと思いますが、資材高騰による工事費増額や人手不足による完成時期の延期など、マイナスな情報が多く出だしています。特に完成延期は、万博跡地に開発中で2030年開業を目指すIRの集客、または完成自体に影響が出るかもしれません。我々の切断穿孔業についてです。仕事量は多くないと思います。特に大型の新規案件はほとんど聞かず継続工事はばかりです。当社に関しても、関西での工事が少なく出張仕事が多いため、新社会員や入場許可証の無い若手社員の配置に苦労している現状です。次に当社の携わりが強い製鉄業です。日本最大の高炉メーカーにおいては、アメリカの製鉄会社を買収したので、今年度の国内投資は少ないと聞いています。これまで仕事量があったので、工場内のゼネコンからは、急な仕事量減少で過剰人員になっているようです。しかし工場特有のルールや慣例を熟知した職員を手放すわけにもいかず苦慮しているそうです。突発的トラブル対応以外には、予算がついていないのが今年の様子です。当社はそうした中で、なんとか計画通り進められているメンテナンス工事を主に受注しています。突発トラブル対応については、北海道や岡山に行ってきました。いずれも急な対応を求められ、工事部スタッフや協力会社の皆様に休日や長期休暇を返上して対応していただきました。製鉄業は、自動車をはじめ製造業や、国のエネルギー施策、海外も含めた景気に影響されます。国土強靱化を謳う建設業の様な安定感が少ないです。我々としては、このよう状況でも、数少ない切断穿孔を施工し、技能の向上や技術の開発を進めたいと考えています。最後に採用や社内環境についてです。採用に関しては、幸運にも現時点で2027年4月入社を2名確保し、今年度採用は完了できました。昨年より始めたSNSは、新卒応募に役に立っており、内定者の親御さんが見て安心してもらう材料になっていると聞きました。社内環境は、今年は年間休日125日にしました。1年の1/3が社内カレンダー上で休日です。ただどの会社も同じだと思いますが、我々の職種は出張が多いです。また先に話したようにトラブル対応で休日出勤があります。個人の事情で思うような人員配置が出来ない問題は、各社同様かと考えます。そういった点など、本日ここに集まれた会員の皆様と、情報共有や意見交換をしたい次第です。



関西地区 濱田理事



⑥中国・四国地区代表理事 株式会社コンセック 船本 浩司 氏

今回の地区報告では、広島地区はＪＲ広島駅再開業事業が6月をもって完了となり路面電車が広島駅2Fへ直接乗り入れし新幹線へ同じフロアーから乗り換えが可能となり利便性がかなり良くなります。

引き合いは例年通り沢山ありますが昨年からの継続現場が少なく3・4月からの現場が延び延びになり5・6月に集中する様です。中でも橋梁の解体撤去工事や耐震補強工事が続いています。現在 中国地区では中国自動車道の床版取替工事が多く進んでおり今期もまだまだ案件が出る様です。他に水力発電所の設備改良工事がいくつか動きがあり・ダム改修工事と併せて発注されるとの事です。広島港棧橋の解体撤去工事と昨年からの引き続き動きがあり今回発注案件の施工内容が重機解体となっている様です。工法の変更が出ればまたダイヤモンド切断で動く様です。他では島根原子力発電所での耐震補強工事は今年の5月で一応終了しますが一部の防潮堤（水門）の撤去工事が動きますが新設の工事と同時に進みます。他に既設の沖防波堤の解体（船舶の航路を確保する為）・防波堤上部工や下部工の撤去工事が有る様でコンサルからの問い合わせ（岡山県・愛媛県の現場）が来ており他に水門の改修工事（徳島県）も併せて動きがあります。四国地区では昨年からの大型のダム改造工事が進んでいます。ダム堤体への吐き出し抗の新設など難易度の高い施工が求められていると聞いております。その他に製鉄所の改修工事（定期改修工事）が有る為に切断試験施工を繰り返し行っています。（高温の耐火煉瓦や鋼同等の強度を持つスラグ）それから昨年度より市町村道の拡幅に伴い既設橋梁の架け替え工事で上部工・下部工の解体撤去工事が動いております。この様な案件では乾式工法をPRしておりますが予算的に厳しい事も有り湿式工法と併せて濁水処理を同時にPRしております。以上を持ちまして中国・四国地区の報告とさせていただきます。御静聴有難うございました。



中国・四国地区 船本理事

⑦九州・沖縄地区代表理事 ダイヤモンド機工株式会社 代理 平田 健 氏

先ずは、発電所関係では、水力発電所関連工事が引き続き発注がありますが、件数は一時期に比べると多少減ってきている印象です。ネクスコは、床版取替、車線拡幅、トンネル4車線化、それぞれ動きがあります。港湾関係は公共・民間でそれぞれ発注が出ております。北九州の製鉄所関連が電炉化に伴って、撤去工事がある一方で、これまでの高炉のメンテナンス工事が減ってきています。電炉に変わっていった後の電炉のメンテナンス方法がどのように変わっていくのか未知数です。福岡市の天神地区再開業に伴う地下構造物撤去も多少あります。4月に、九州内の同業者の例会があり、当社も含めて、あまり忙しいとは言えない状況報告が多かった様に思います。そんな中、国土交通省の下請取引等実態調査を背景に公共工事における（先ずは）フラットソーの施工単価を見直して、「適正単価に改定していこう」という発表・働きかけが会員企業から上がりました。それ以外の多くの会員企業からも、施工価格の適正化(価格改定)の話は出ており、今後益々進んでいきそうです。又、これは当社内で目指している事でありますが、施工単価の適正化と同じくらい重点を置いている事が、施工効率をUPさせるという事です。サマータイム制の導入等の話しも出ている中、一日の作業時間が益々減少していく状況で、いかにしてこれまでと同じかそれ以上の施工量を上げるか、もしくは、受注量を増やすか。方法は限られていますが、社内で共通した意識改革が必要ですが、まだまだ道半ばです。しかし、そうやって収益力を上げて、社員の所得や設備投資に当てて、更に収益力に繋げていくサイクルに持っていき、所得UPからの初任給UPを行い、新入社員の獲得に繋げて、人材の確保を中長期的に行っていければと考えております。皆さん、抱えている問題は同じ様な事だと思いますので、引き続き情報交換も出来たらと考えます。以上、九州沖縄地区の報告とさせていただきます。ありがとうございました。



九州・沖縄地区 代理 平田健氏

3. 委員会報告

① 企画委員会 田中 委員長（第一ダイヤモンド工事株式会社）

企画ですが昨年度、事故事例・ヒヤリハットを募集させていただきましてそちらをまとめ、本日協会HPに公開させていただきましたので、皆様ご確認お願い致します。雇入れ教育や安全会議の際、資料にして頂けますといいかなと考えています。作成時に感じたのですが、重複した事例が多く、そちらを留意していただけますと同じ災害の減少につながると感じました。本年度、継続的に第二弾という事で来年の展示会に向けてDCAさんと協力しております。私からは以上です。



企画 田中委員長

② 広報委員会 久保 委員長（株式会社シブヤ）

広報ではニュースレターの定期発行68号を8月に、69号を来年2月に発行予定としております。68号では今回の総会例会と今年1月に開催されたワールドオブコンクリート研修ツアーの記事を掲載させていただきます。また、69号では今回は広島で開催される例会と共に、今期事業計画案にも記載させていただきましたが、記事としてコンクリートコーリング大阪さんがJCSDAで選出されて切断穿孔業の講義を兵庫県の土木施工管理技士会でなさいますので、これを取材したいと考えております。常々申し上げていますが、ニュースレターでは様々な記事・企画を考えており皆様に有益な情報を発信したいと考えております。今回の取材もそうですが、各地域どこでも構いませんので是非、事務局まで情報を寄せていただけたらと思います。広報からは以上です。



広報 久保委員長

③ 調査委員会 砂川 委員長（第一カッター興業株式会社）

先程の総会にて、調査委員長として再任くださりましてありがとうございます。引き続きよろしくお願い致します。調査委員会といたしましては7月の公開に向けて施工計画の手引きの改定作業中です。本年度の機械損料に関して基礎価格が切断穿孔機あるいは発電機であったり車両費、基礎価格で大体10%から15%UPしております。更に公共労務単価にしても15年前から徐々に上がっており15年前と比べると現在労務費は倍になっております。それくらい機械・労務共に増加してきております。単価ベースでざっくり計算すると前年単価ベースでみると5%前後位のUPというような感覚です。こういった情報がございまして特に施工会社さんは価格改定の話が出ましたけども各価格改定に関しまして少しでも後押しになるのではないかと考えております。調査委員会からは以上になります。ありがとうございました。



調査 砂川委員長

④ 国際委員会 澁谷 彰範 委員長（株式会社シブヤ）

視察の目的としては、コンクリートを中心とした世界最新技術の把握、切断・穿孔分野の技術動向および製品トレンドの確認、アメリカ市場の規模感・考え方・ビジネス動向の把握、協会および会員企業への情報還元です。訪問国はアメリカ合衆国でWorld of Concrete 2026（以降、WOC 2026）をメインの目的とし、前後の訪問都市はサンフランシスコ／ラスベガス／ロサンゼルスとなっております。続いてスケジュールです。1月18日に羽田空港から移動し、サンフランシスコ視察そのままラスベガスへ移動し、各自で視察。1月20日～21日WOC 2026視察となっております。翌日にロサンゼルスで一泊し1月23日～24日 移動日となっております。WOCは世界最大級のコンクリート関連展示会となり、来場者数が約5万人規模で、出展社数は1,300社以上屋内・屋外にわたる大規模展示（約65000㎡超）となります。来年のWOCは1月17日（日）～1月23日（土）となり、ご案内予定を8月頃各社へご案内を送ります。例会直後となりますが、申し込み締め切り10月16日ですので、よろしくお願い致します。



国際 澁谷委員長

澁谷憲和前国際委員長（株式会社シブヤ）

IACDSの会議と、今後の予定ですが日程は2026年5月14日～15日となり、イギリスエディンバラで開催されました。来年のIACDS総会は2027年5月19日～20日で、スウェーデン・ストックホルムにて開催されます。その時にコンクリートカッティングサミットというのが同時に開催されます。また、こちらも国際委員長よりアナウンスがあると思いますので、その際は宜しくお願いいたします。



澁谷憲和前国際委員長

⑤ メーカー部会 増田 メーカー部会長（旭ダイヤモンド工業株式会社）

メーカー部会としては、今年1月23日に部会を開催させて頂き、14社中、13社の18名にご出席頂きました。会議終了後には懇親会を開き、親睦を深める有意義な時間となりました。会議の中では、各社の近況報告があり、各社とも繁忙期の時期に於いても、ダイヤモンド工具・機械部品等の販売減少と厳しい状況が続いている。また、中国の輸出規制、原材料や人件費等の高騰に苦慮し、値上げの実施や検討をしているとの報告が多数を占めていました。機械メーカーに於いても、中東情勢の影響で、オイルやシンナー等、石油製品に関連するものが入手困難となっているとの報告もありました。参考に、原材料の価格推移を投影致しました。特に、価格上昇の高い金属粉末の銀とタングステンの相場推移になります。グラフの2品目は、A IやE V、半導体関連等の需要拡大、中国の輸出規制に大きく影響を受け、供給不足となっている事が、価格上昇の要因でもあると思われます。

まず銀は、ブレード、ビット等、ダイヤモンドチップのロー付けに使用され、ダイヤモンドチップの中にも入っている粉末となります。今年の1月よりは相場は下がっていますが、3年前の23年1月と比べ約4倍も上昇し、昨年秋以降から一気に加速している状況です。

次にタングステンになりますが、これは中国の輸出規制を非常に影響受け、供給不安も懸念されています。コンストラクションの業界ですと、アスファルト用ブレードに多く使用されています。直近の1年前からでは約8倍の上昇となっています。今年に入ってから、一気に上昇しており、今後も、更に上昇するとも言われています。2品目以外の原材料や人件費、また、運送費、外注加工費等すべてで高騰しています。ここ、2、3年の間に各メーカー共、値上げのご協力をお願いしていますが、グラフの通り、今年に入ってから、更に利益を圧迫している状況で、値上げを実施させて頂いても、追いつかない状況です。施工部会の皆様には、値上げの事でご迷惑をお掛けする事も多いかも知れませんが、ご理解を頂きたくお願い申し上げます。最後に、皆さんに配布しております資料は、ダイヤモンド工業会に加盟しているメーカーの販売金額とグラフになります。毎年、少しずつダイヤ工具の販売量が下がっている状況です。重ね重ねのお願いとなりますが、出来る限り協会会員からのご購入をお願いして、メーカー部会からのご報告とさせて頂きま



メーカー部会 増田部会長

4. 技術情報 プレゼンコーナー

①[ウォルソーWS8シリーズ、集塵機DE130H]
ハスクバーナ・ゼノア株式会社
水谷 裕氏（関連記事P12掲載）



ハスクバーナ・ゼノア株式会社 水谷裕氏

②[水処理循環システム DD WMS 100-22]
日本ヒルティ株式会社
五嶋 弘晃氏（関連記事P13掲載）



日本ヒルティ株式会社 五嶋弘晃氏



プレゼン風景

5. 事務局報告 落合事務局員

落合事務局員より以下の報告が行われた。

会員移動 施工部会(33社)・メーカー部会(13社) 移動なし 休会：1社
事務局への照会（令和7年10月1日～令和8年3月31日）

詳細 事務局便り（23P）参照



事務局 落合事務局員

6. 閉会の辞 渋谷副理事長（株式会社シブヤ）

皆さん長時間お疲れさまでございました。このような形でお会いできる年に2回の機会、是非ともこのチャンスを使って頂いて全国各地の経済状態そして先程もございました新製品の情報をしっかり使って頂いて皆さんのお仕事に繋げていただけたら価値が出ると思います。これから情報交換のパーティーとなりますので、是非ともチャンスを使って頂いて皆様同士の意見交換、勉強に繋がっていただけたらと思います。



閉会挨拶 渋谷副理事長

以上、17時40分プログラムを全て終了し、盛況の中例会は閉幕した。



懇親会

第35回定時総会、第76回東京例会に引き続き18時より、同宴会場 白鳥の間にて、懇親会が執り行われた。藤尾浩太新理事長（コンクリートコーリング㈱大阪）の開会挨拶、続いて小澤純前理事長（コンクリートコーリング㈱）、そして来賓の下村俊夫ダイヤモンド工事業協同組合理事長による挨拶の後、高橋正光前副理事長（第一カッター興業㈱）乾杯の発声で懇親会がスタート。参加の皆様は大いに盛り上がり、和やかに懇親を深められた。盛況の中20時30分、高橋辰佳副理事長（東北カッター㈱）の中締めでお開きとなり、散会となった。



懇親会開会 藤尾新理事長



小澤前理事長



来賓 DCA下村理事長



後列左から 川添 安藤 名古屋 荻原
前列左から 小澤 下村 藤尾 河崎 各氏



乾杯 高橋（正）前副理事長



後列左から 岸 岡田 我孫子
前列左から 柳 平田（豪）山本 澁谷（彰）各氏



後列左から 横山 鶴岡 高柳
前列左から 安達 平田（健）濱田 須藤 各氏



後列左から 相羽 斉川 遊佐 東谷
前列左から 水谷 田中 大木 各氏



後列左から 河口 落合（則）長屋 桜井
前列左から 土堂 渋谷（憲）後藤 砂川 各氏



後列左から 内藤 久保 仲山 増田
前列左から 清水 若林 目黒 各氏



記念品授与 清水氏、落合（え）氏



後列左から 古木 宇津野 北村 渡邊（達）
前列左から 菊池 阿部 西澤 各氏



後列左から 佐藤（渉）沼田 高梨 五嶋
前列左から 落合（え）稲積 山下 各氏



中締め 高橋（辰）副理事長



後列左から 長谷川 渡邊（一）中河原 唄
前列左から 佐藤（英）高橋（辰）小野寺 高橋（正）各氏

H-CLASS DUST EXTRACTORS



集塵機SシリーズがDEシリーズにモデルチェンジしました。

S13 → DE 110 SH
S26 → DE 120 H
S36 → DE 130 H

集塵機DEシリーズは全機種HEPAフィルター（Hクラス）を採用し、0.3μまでの粉塵99.97%吸着するため、作業環境をクリーンに保ちます。

NEW



e-flowにより、フィルター飽和処理全体の気流速度を最適化すると同時にエネルギー消費を最大30%削減します。



ホースの直径に合わせて設計された視覚的なフィルターアラームが、フィルターの洗浄時期を正確にお知らせします。



Longopac® バッグホースシステムにより粉塵をこぼすことなくバッグを簡単に交換できます。

仕様	DE110SH	DE120H	DE130H
出力 kW	1.1	1.5	3.0
電圧 V	単相100		単相230
電流 A	11	15	15
最大風量 m³/h	240	380	415
質量 kg	25	39	48
HEPAフィルター搭載数	1	2	2



CONFIDENCE IS IN THE AIR

バッテリーシリーズ

電源の無い場所で作業ができます。



DE 110i H

DE 120 H PACE

仕様	DE 110i H	DE 120 H PACE
出力 kW	0.9	2.2
電圧 V	36	94
質量 kg	26	41



ホームページから製品をチェック



ウォーターマネジメントシステム WMS 100-22 **7月発売開始**



技術データ	
タンク容量	14リットル
ホース長	5300m
重量	20.9kg
寸法(LxWxH)	571x375x634mm
A-加重時音圧レベル	70dB(A)

特徴

1 回のタンク充填でより多くの穿孔が可能

最大 100 リットルの給水を実現

フィルター寿命の延長

ECO モードが水流を最適化し、フィルター寿命を最大25%延長

現場を清潔に保持

スラリーはすべてフィルターバッグに収集され、廃棄が容易

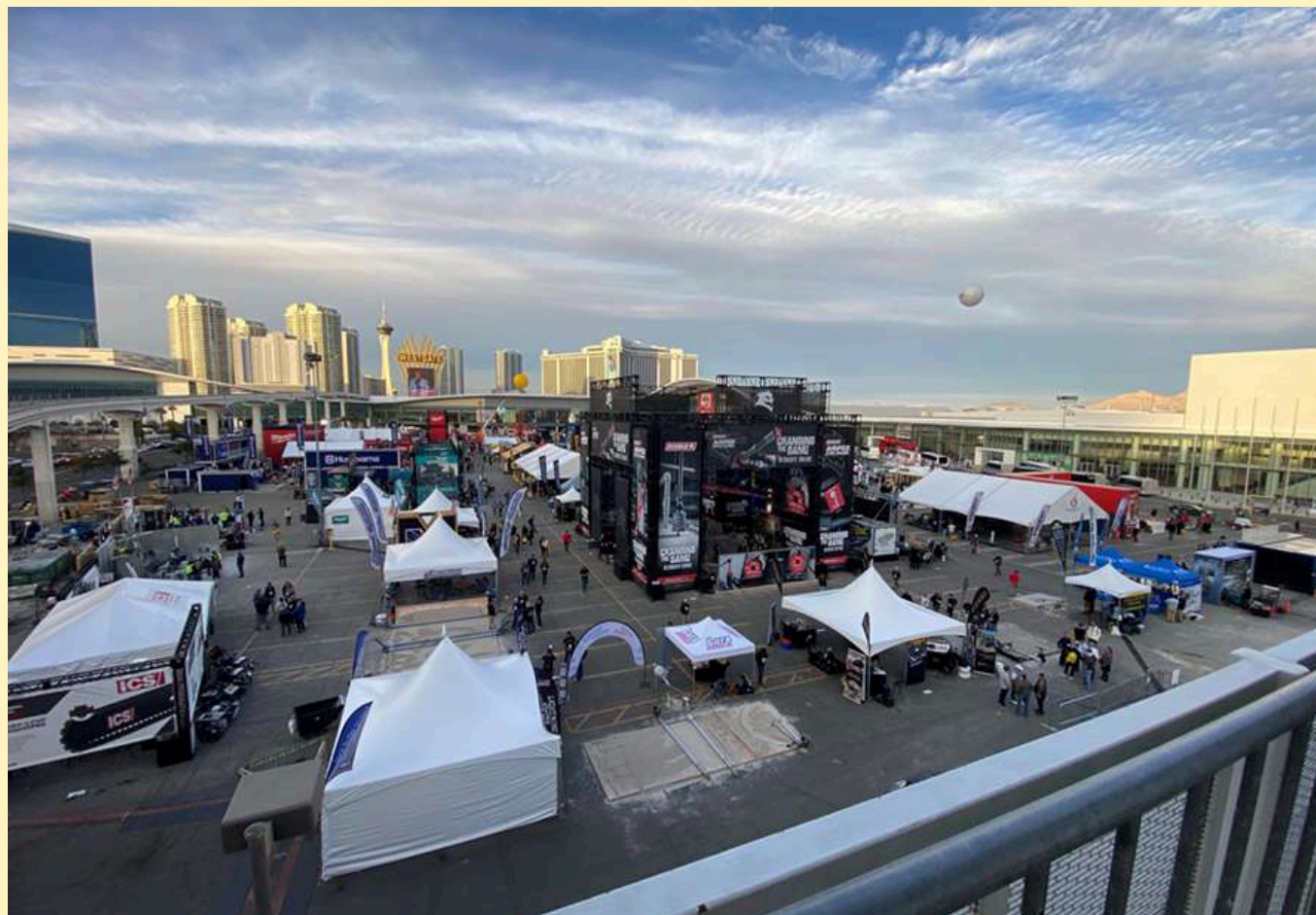
Bluetooth接続

新しいヒルティ充電式 コア穿孔とBluetooth 接続することで、
コアリングマシンの稼動中のみに水を供給し、給水範囲を最適化

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和8年1月18日～1月24日

研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート



参加者：鮎川 篤史（第一カッター興業株式会社）

川崎 由紀夫 葛西 竜門 古川 龍乃介 二橋 洋平（第一ダイヤモンド工事株式会社）

林 大貴 鈴 博之（株式会社ウォールカッティング工業）

笹岡 貴志 海瀬 繁（コンクリートコーリング株式会社大坂）

成松 豊志寛 ニノ宮 雅史（コンクリートコーリング株式会社）

小泉 保 菊地 弘記（第一建興江島株式会社）

寺田 忍 松永 翔至（東海カッター興業株式会社）

渋谷 憲和 渋谷 彰範 田口 正宗(株式会社シブヤ)

順不同 敬称略

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和8年1月18日～1月24日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート

初日：移動日（成田空港→サンフランシスコ→ラスベガス）

初日はサンフランシスコ空港到着後バスにてサンフランシスコ市内を観光しました。サンフランシスコの街はとても綺麗で歴史ある街並みだと思いました。観光地はピア39、ゴールデンゲートブリッジ、ツインピークの丘、パレスオブファインアーツなどを回りました。（菊池・小泉）

「フルハウス」のOPで有名な金門橋[Golden Gate Bridge]に行ったときは、子供のころに見ていた番組に出てくる金門橋を見ることができとても感動しました。（古川）

市内を完全無人タクシー「Waymo」が日常に溶け込んで走っていました。街中を運転席に誰もいない車が静かに走る光景は、まるでSF映画のようでしたが、現地ではすでに日常の一部となっていました。アプリで呼ぶだけで目的地まで運んでくれる手軽さに加え、チップや会話の気遣いが不要な点、運転手の勘に頼る経路の選択など、移動における心理的な負担を大きく軽減し、完全プライベート空間を提供してくれていました。無人化が人に与える「余裕」という価値は特に海外では想像以上に価値のあるものと感じました。（鮎川）



パレスオブファインアーツ



金門橋

サンフランシスコ観光後に飛行機を乗り継ぎラスベガスに到着。ラスベガス空港に到着して預けた荷物を受け取りに行くのにモノレールに乗って移動したのには驚きました。空港内を歩いているとカジノがあることにビックリし、ホテルに向かうバスの中からの景色は流石眠らない街と言わんばかりにキラキラ輝くネオン街でした。ベラッジオホテルの前にとても大きな噴水があり音楽に合わせて噴水が出るショーを見られてとても感動しました。（菊池・小泉）

街全体が光に包まれ圧倒的なスケールと華やかさで、歩いているだけでワクワクしました。新名所である巨大な球体のスフィアの鮮やかな最新の映像技術には圧倒されました。また、フリーモントストリートの天井が丸ごとスクリーンになってサウンドと映像のアートショーの迫力は度肝を抜かれました。（寺田）



ベラッジオホテル



フリーモントストリート



ラスベガスの街

2日目：グランドキャニオンツアー

2日目はツアーに参加し、早朝3時集合、解散は22時、移動距離約1,100kmというハードな日程でしたが、ルート66を通り、グランドキャニオン国立公園、ホースシューベンド、アンテロープキャニオン、レイクパウエルを巡りました。どの場所も写真では伝えきれないほどスケールが大きく、特にアンテロープキャニオンは見慣れていたパソコンの壁紙そのままの景色で、強く印象に残っています。市街地を離れると信号もなく、荒野に広がる雄大な景色が続き、長時間の移動でありながら楽しめる時間となりました。（鮎川）



レイクパウエル



グランドキャニオン

グランドキャニオン公園・ホースシューベント、ロウアーアンテロープキャニオン・レイクパウエル観光4か所とも自然が長年かけて作り出した広大な景色で改めて自然のすごさを感じました。レイクパウエルはドラゴンボールに出てくるナメック星のモデルです。（二ノ宮）
ホースシューベントはコロラド川が馬の蹄のように湾曲しているところから名付けられたそうです。私たちが写真を撮ったところは柵がない所だったので、かなりのスリルを味わえました。（川崎）

アンテロープキャニオンの造形美：鉄砲水が砂岩を削り出した幻想的な曲線美に触れ、我々が扱う「人工のコンクリート」とは対極にある「自然の造形」の力強さを体感しました。このスケールの大きな自然に触れたことは、一個人としての視野を広げる貴重な経験となりました。（海瀬）



アンテロープキャニオン



ホースシューベント



ルート66

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和8年1月18日～1月24日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート

3日目：ワールドオブコンクリート



まずは本命のシブヤから見学していると、ブース内で展示品を見てみると目に留まった1台の機械がありました。見たことない四角いビットにポンプが装着してあります。参加者全員この前で釘付けになっていました。

この四角いビットが、どう作用して四角く削孔出来るのか？と超難題でした。振動するのか、打撃なのか、スイベルも装着しているが、どの様に作用するのか全く見当が付きませんでした。が、シブヤの会長が一言「ジョークです」と言っていました。このような展示会には時々ジョークがあるようです。しかもこんなに喰い付いて理解しようとするのは日本人だけだそうです。他の機械を見て回って気が付いたのは、建設機械でも外観も重視しているようで、オシャレでカラフルな機械が多い事でした。また日本でも良く見かける工具類でも「もうちょっとこうだったら良いなー」と思えるものは、すぐに形にして販売するスピード感にも驚きました。(川崎)



世界中の機械を世界中の人達と一緒に見られるなんて素晴らしいかったです。普段自分達が使っている機械もあり、凄くワクワクしました。機械のサイズも大きな物が多くて、驚きました。今後日本にも販売されるのかなと少し期待しながら、実際に見て、触り実演出来るのは今後来る人にも良い経験になると感じました。日本人に対してもとても友好的でほぼ英語は話せず理解も出来なくてもわかりやすくジェスチャーで対応してくれる所も良かったです。(鈴)

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和8年1月18日～1月24日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート

日本ではあまり見ないメーカーのカッターや集塵機などがあり、とても新鮮で勉強になりました。他にも乾式用のコアビットの外側にスリットを入れるなど様々な工夫がされている工具有り、驚きました。特にハスクバーナのロードカッターやHILTIのワイヤーソーマシン、バッテリー式の電動ピック等、あまり見たことがないマシンも展示されており、他業者と交流しながら見て触ることができたので、とても有意義で貴重な体験をさせていただいたと思います。（古川）



世界各地から色々な業種・メーカーの機械が沢山展示されていてデモンストレーションも各ブースで行われていた。カッターの機械はエンジン・マフラーが剥き出しでバキュームも付いてなく日本向きではなかった。他のワイヤーソー・ウォールソー・穿孔機械等も展示してあり日本の現場でも使用できそうな機械が有り良い勉強・経験になりました（小泉）

今回のWORLD OF CONCRETEを通じて感じた最大のポイントは「高出力化」よりも「安全性・再現性・省人化」へのシフトである。特に大径コア作業の安定化、壁・天井・横向き作業への対応、作業者1～2名で完結する施工システムといった点は、日本国内の現場においても今後さらに需要が高まると考えられる。（成松）



世界中からのコンクリート業界の専門企業、メーカーが集結した会場はとても広大で最新の技術・製品に触れることができ、1日中感動しっぱなしでした。

日本では想像もつかない様なサイズ感に豪快さを感じた反面、細部にわたる安全性と品質へのこだわり、最先端の施工技術など間近で感じることができました。（寺田）

世界中の最先端製品・技術が一堂に集結した世界最大級の展示会、1日では全部回りきれないほどの会場に驚愕しました。中でも弊社が扱うHusqvarnaの製品の正しい扱い方を聞いたのが喜ばしい限りでした。（松永）

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和8年1月18日～1月24日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート

会場に入ってまず感じたのは、その圧倒的なスケールです。広大な展示スペースに並ぶ大型重機や車両、そして世界各国から集まった来場者の熱気は、日本の展示会とは少し違う迫力があり、「さすがアメリカ」と感じさせられるものでした。会場内ではビールを配布しているブースも多く、飲みながら展示を見学する光景が当たり前のように広がっており、展示会そのものを楽しみながら交流する文化の違いも強く印象に残りました。当社業務に関わる機材や材料も多数出展されており、特に遠隔操作技術には各社が力を入れている様子が見え、今後を見据えた技術競争がさらに加速していくことを感じる一方で、当社での活用可能性についても将来の検討材料として大いに参考になる内容でした。

（鮎川）



普段自分たちが実際に使用している機械を間近で見ることができ、とても有意義な時間だった。初めて目にするコア削孔の機会があり、先端技術を目の当たりにしました。機械のサイズもアメリカサイズでした。（林）

外には車両系機械が展示されていました。ポンプ車や生コン車、照明専用車やクレーンなど、とにかく大きくて派手なカラーリングでした。大型車はほとんどがボンネットのある車で道路や土地に余裕があるからこそ、このサイズでも良いのだと感じたのですが、逆に細かい作業とかは出来ないのだろうなとも思いました。なんでもコンパクトに設計し、緻密で繊細な作業が出来る日本の職人の凄さを感じました。（川崎）



会場ではシブヤ（SHIBUYA）やDITEQといった主要メーカーの最新鋭機を確認。特に展示されていた超大径のコアビットや、多種多様なダイヤモンドブレードのラインナップには圧倒されました。高強度コンクリートに対応する高耐久なチップの進化、および施工効率を劇的に向上させる高出力ドリルマシンの自動化技術が印象的でした。これらは日本国内の現場における省人化・工期短縮において極めて有効なソリューションになると確信しました。（海瀬）

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和8年1月18日～1月24日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート

ロードカッターやワイヤーソーは、日本で使用している機械とは見た目も違い、この機械でコンクリートを切断したらどれぐらいで切れるのか試してみたいとなりました。コアビットも色々なメーカーや種類がありました。この研修に参加でき、見る事、触れる事ができ良かったです。（葛西）



施工する機械のメーカーだけでなく人材派遣の会社まで幅広く、いろんな業種があって非情に面白かったです。（笹岡）

世界中からのコンクリート業界の専門企業、メーカーが集結した会場はとても広大で最新の技術・製品に触れることができ、1日中感動しっぱなしでした。日本では想像もつかない様なサイズ感に豪快さを感じた反面、細部にわたる安全性と品質へのこだわり、最先端の施工技術など間近で感じることができました。このような国際的なイベントに参加することで自身の知識やスキル向上だけでなくコンクリート業界の最新の動向を把握し、これからの業務に新たな価値をもたらす機会になりました。（寺田）

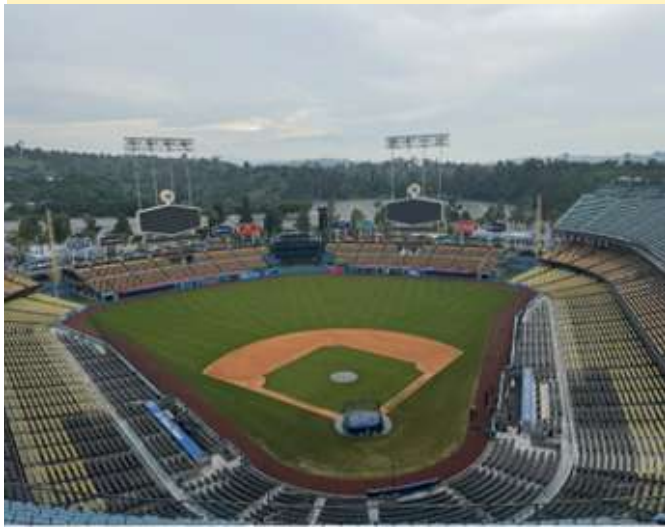
4日目：ロサンゼルスツアー



ロサンゼルス観光では、まず街並みの解放感や多様な建物に目を奪われた。青空の下、ヤシの木が並び通りやカラフルな街の雰囲気は、写真で見る以上に生き生きとしていて、歩くだけでも楽しかった。（林）

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和8年1月18日～1月24日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート



ロサンゼルスではドジャース球場の中まで入れるツアーに参加しました。球場の観客席から見るだけと思っていたのですが、グラウンドの中やベンチにまで入れ、途中には控室や殿堂入りコーナー等があり、日本人では野茂と大谷の記録が掲示されていました。（川崎）



ドルビーシアターでは、アカデミーショーを受賞したマリリン・モンローやアーノルド・シュワルツェネッガーなどの有名な方の手形、足形が地面に刻まれており、本当に凄い所にいるのだと実感しました。（菊池・小泉）

グリフィス天文台に向かい、夜景を見に行きました。直前までは雨だったようですが、見学中は雨も上がり綺麗に夜景を見学出来ました。（川崎）



ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和8年1月18日～1月24日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート



研修を終えて

研修に参加させて頂き思ったことは日本とは違う国での建設業への考え方がかなり違うのだなと思いました。機械一つとってもどれも環境に配慮するのが当たり前になっており、何か時代の変わりのような感覚を持ちました。膨大な土地で工事を行うアメリカの商品はとてもスケールが大きく日本では考えられないスケールの物がたくさんありました。（笹岡）

研修を終えて、私は多くの新しい体験をすることができたと実感しています。初めは海外に一度も行ったことがなく不安の方が大きかったのですが、現地で様々な物、人、場所、空気に触れていく中で、自分の世界が広がっていきました。日本とは食文化や治安や生活のマナーが大きく違い、今までの常識とは違う、まさにカルチャーショックを受けました。自分の常識が世界の常識ではなくその土地その国での文化を学んで理解していくことが大切だと感じました。（二橋）

この研修を通して、世界には多種多様な機械があり、その機械を上手く使い私の知らない施工方法がきっとあるのだと思うと、まだまだ経験が足りないんだろうなと思いました。これからも自ら進んでやった事のない施工方法でしたり、新しい機械を使った仕事には、どんどんチャレンジしていきそれを後輩たちに伝えていきたいと思います。（葛西）

この度は貴重な体験の機会をいただき、誠にありがとうございました。シブヤの皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。皆様とお会いするのは初めてでしたが、様々なお話をさせていただき、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。ツアーでは多くの場所を見学することができ、毎日新しい発見があり、終始ワクワクしながら参加させていただきました。（林）

*寄稿者の皆様、この度はお忙しい中での執筆ありがとうございました。広報委員会

【施工計画の手引】掲載のお知らせ

フラットソーイング工法	(第27版)
コアドリリング工法	(第27版)
ウォールソーイング工法	(第27版)
ワイヤーソーイング工法	(第19版)
乾式コアドリリング工法	(第12版)
乾式ウォールソーイング工法	(第12版)
乾式ワイヤーソーイング工法	(第12版)

令和8年7月1日に内容を更新改訂致しました。

当協会ホームページに掲載しておりますので、皆様、是非ご活用下さい。

内容に関するご質問お問い合わせ等は、協会事務局にご連絡下さい。

調査委員会 委員長 砂川 高寛

JCSDA 事務局便り

◆会員移動

- 1)施工会員 : 33社 入会：なし 退会：なし
- 2)メーカー会員 : 13社 入会：なし 退会：なし
- 3)友の会会員 : 44社 入会：(株)TMT 退会：なし

◆会員募集：詳しくは事務局までご連絡下さい。入会申込書をお送りします。

	正会員			友の会会員
	施工会員年商2億円以上	施工会員年商2億円未満	メーカー会員	
入会金	10万円	10万円	10万円	なし
年会費	20万円	15万円	20万円	2万円

◆会員情報

代表者変更 (株)センター機材 代表取締役 山下 敦
日本ダイヤモンド(株) 代表取締役 小澤 純
(株)エー・ワン 代表取締役 舞草 寛

住所変更 旭ダイヤモンド工業(株)
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-4-1 麹町大通りビル13F

社名変更 (株)鎌田メンテナンス (旧 (株)ベストサービス)

＊お願い

会員各社様の各種情報(代表者・所在地・TEL/FAX番号等)変更の場合には、その都度必ず当事務局宛ご一報を下さいます様、お願い致します。

◆例会開催予定

第77回例会 オリエンタルホテル広島にて令和8年10月14日(水)開催予定。
詳細は事務局よりご案内させていただきます。

✓ホームページが新しくなりました



スマホでも
簡単

会社名	所在地	電話番号	FAX番号
(株)エジマ	〒078-2600 北海道雨竜郡雨竜町字満寿36-9	0125-79-2011	0125-79-2012
(有)栄進カッター工業	〒003-0869 北海道札幌市白石区川下2065-2	011-873-6908	011-873-6909
第一建興江島(株)	〒065-0023 北海道札幌市東区北23条18-2-3 2F	011-751-0410	011-771-6361
東北カッター(株)	〒038-0021 青森県青森市大字安田字若松60	017-766-9230	017-766-9244
井上工業(株)	〒990-2482 山形県山形市久保田2-1-47	023-645-8877	023-645-8395
(株)鎌田メンテナンス 埼玉事務所	〒342-0036 埼玉県吉川市高富大場川1059埼玉事務所	048-983-8560	048-983-8570
コンクリートコーリング(株)	〒177-0054 東京都練馬区立野町16-12	03-3928-3023	03-3929-8997
第一ダイヤモンド工事(株)	〒157-0067 東京都世田谷区喜多見3-14-27	03-3417-1911	03-3417-3777
(株)ダイイチ	〒157-0067 東京都世田谷区喜多見5-1-7	03-3416-0411	03-3416-0412
(株)シンワダイヤ	〒116-0001 東京都荒川区東日暮里1-27-10	03-5850-6200	03-5850-6201
小笠原興業(株)	〒177-0044 東京都練馬区上石神井1-41-2	03-3928-1514	03-3928-1508
(株)丸辰道路工業	〒224-0043 神奈川県横浜市都筑区折本町338	045-476-4012	045-476-4013
第一カッター興業(株)	〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園833番地	0467-85-3939	0467-88-0567
中央総業(株)	〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野3-20-1-4F	042-765-5500	042-765-2822
浜田工業(株)	〒226-0026 神奈川県横浜市緑区長津田町4805	045-921-6500	045-921-2420
(株)D-1	〒940-1104 新潟県長岡市摂田屋町2701-13	0258-89-7685	0258-89-7686
江島産業(株)	〒457-0003 愛知県名古屋南区鶴田1-5-13	052-821-9305	052-821-9339
東海カッター興業(株)	〒462-0017 愛知県名古屋北区落合町135	052-901-4811	052-901-4812
コンクリートコーリング(株) 大阪	〒534-0001 大阪府大阪市都島区毛馬町5-15-28	06-6924-4517	06-6928-1263
(株)ティー・ビー・シー・ダイヤモンド	〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上321-2	072-363-4145	072-363-4146
(株)日本コンクリートカッティング	〒578-0921 大阪府東大阪市水走5-5-50	072-960-5910	072-960-5911
(株)丸辰道路工業	〒581-0054 大阪府八尾市南亀井町2-4-51	072-923-7579	072-923-2499
北辰工業(株)	〒570-0032 大阪府守口市菊水通4-12-15	06-6997-2426	06-6997-2429
(株)佐藤工業	〒653-0805 兵庫県神戸市長田区片山町5-11-24	078-612-0413	078-621-0421
(株)中国カッター鳥取	〒680-0905 鳥取県鳥取市賀露町129-2	0857-28-9808	0857-28-9815
(株)コンセック	〒733-0833 広島県広島市西区商工センター4-6-8	0822-77-5452	0822-78-6389
九州ダイヤモンド工事(株)	〒814-0174 福岡県福岡市早良区田隈2-23-6	092-864-7600	092-864-7638
(株)コムカット	〒811-1314 福岡県福岡市南区の場2-21-2	092-571-1971	092-585-5647
(株)センター機材	〒812-0894 福岡県福岡市博多区諸岡5-1-8	092-591-2828	092-591-3078
ダイヤモンド機工(株)	〒814-0143 福岡県福岡市城南区南片江2-30-21	092-801-0011	092-863-5707
(株)リュウキ	〒807-0852 福岡県北九州市八幡西区永犬丸西町4-20-28	093-601-6777	093-601-6888
(株)旭工業	〒885-0004 宮崎県都城市都北町1715-2	0986-36-6650	0986-36-6651
(株)西部システム	〒899-4346 鹿児島県霧島市国分府中町26-33	0995-46-9015	0995-46-9016

会社名	所在地	電話番号	FAX番号
旭ダイヤモンド工業(株)	〒102-0083 東京都千代田区麹町2-4-1麹町大通りビル13F	03-3222-9262	03-3222-6320
エービーイーダイヤモンド(株)	〒358-0014 埼玉県入間市宮寺2596-7	042-934-3110	042-934-3169
(株)クライム	〒146-0081 東京都大田区仲池上1-29-3	03-3753-2014	03-3753-2229
サンゴバン(株)アブレイシブ事業部	〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7	03-6272-6585	03-3221-9976
(株)シブヤ	〒738-0021 広島県廿日市市材木港北3-86	0829-34-4507	0829-34-4508
(株)DAS	〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-15-4F	03-5461-7501	03-5461-7525
仲山鉄工(株)	〒426-0055 静岡県藤枝市大西町3-14-1	054-635-1383	054-635-0418
日本ダイヤモンド(株)	〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町686-1	045-939-3000	045-939-3009
日本ヒルティ(株)	〒224-0037 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20	0120-66-1159	0120-23-2953
ノリタケマシントクノ(株)	〒202-0014 東京都西東京市富士町2-13-17	042-461-5175	042-461-6310
ハスクバーナ・ゼノア(株)	〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9	0570-66-6778	0120-365-295
ピースダイヤモンド工業(株)	〒224-0026 神奈川県横浜市都筑区南山田町4145-2	045-593-1271	045-892-2494
理研ダイヤモンド工業(株)	〒116-0002 東京都荒川区荒川1-53-2	03-3805-3471	03-3805-2434